

初診当日に FT を希望される遠方患者への支援

IVF 大阪クリニック 澤辺 麻衣子

【目的】当院では 2006 年から遠方の患者様へ、初診日に卵管鏡下卵管形成術 (FT) を実施できることをホームページで公開し実践してきた。遠方より FT を希望する患者は事前に電話や FAX、メールで連絡を取り、初診当日 1 日のみの来院で手術を受けることが出来る。その一方、1 日のみの来院で手術を受ける不安も強いことが予測される。今回我々は FT 施行後のアンケートによってその内容をあきらかにし、患者支援の方法を検討した。

【対象と方法】2006 年 1 月～2012 年 3 月現在までの FT 実施者 2080 人。そのうち関西圏外の FT 遠方者 169 人中無作為に選出した 40 名を対象とした。初診当日 FT に関する情報提供と不安に関して 10 項目のアンケート調査を行った

【結果】FT に関する情報は「インターネット検索」で知ったが 79%、FT 後の希望治療内容は「自己タイミング」が 38%、「タイミング療法」が 42%、「人工授精」が 13%であった。不安に対しては「あった」「少しあった」が 50%あり、その内容は「FT 時の痛みやその後の経過」「時間通りに病院へ行けるか心配」などであった。FT に関する情報提供については「わかりやすかった」が 71%だが、「持参する検査が分かりにくい」との意見もあった。

【考察】遠方患者の初診当日の FT 実施には不安が強いことを予測していたが、アンケート結果でも「不安だった」が 50%となっていた。情報提供では「わかりやすかった」が 71%と多数を占めたが、「持参する検査が分かりにくい」との意見もあったので、ホームページの改善とパンフレットや説明の改善も必要と考えられた。またスタッフ間での情報伝達が確実に行えるよう説明確認リストを作成した。初診当日の FT 実施が、すべての患者にとって安心して受けていただけるよう改善すべき点を改善し、より良い支援を目指したい。